

第 682 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

BSN ラジオ自社制作ワイド帯番組について

1 1月に放送された BSN 制作の帯番組を中心に
ラジオもしくは radiko でお聞きいただいてのフリートーク

令和 4 年 11 月 24 日

BSN新潟放送

第 682 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 4 年 11 月 24 日（木）午前 11：00～

2. 開催場所 6 F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委員	三井田 由香	委員	佐野 哲郎
委員	渡邊 信子		

○審議番組事前レポート提出者

委員	石坂 智恵美	委員	広川 和義
委員	大橋 未来子		

○放送事業者側出席者

社長	佐藤 隆夫	専務取締役	島田 好久
メディア本部長	五十嵐 幹史	編成局長	井上 智美
情報センター長	小湊 潤		

<説明員> 情報センター ラジオ放送部長 吉井 秀之

事務局 金山 英功（編成局テレビ編成部部長）

4. 議題

1 報告事項 令和 4 年 11 月の番組について（各担当）

2 審議事項

- ・「新潟放送番組基準改正」について
- ・「BSNラジオ自社制作の帯番組」を中心としたフリートーク

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、事務局長から民放連の放送基準改正に伴う新潟放送番組基準改正についての諮問がなされた。「民放連放送基準」の概要と 2023 年改正の経緯、および「新潟放送番組基準」で準用を予定している「民放連放送基準」2023 年改正の内容について説明がなされた。番組審議会で審議した結果、諮問通り承認され当社に答申された。

その後、各担当からの12月度番組報告に続いて、
「BSNラジオ自社制作の帯番組」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 「四畳半スタジオ」は、尖った感じ。自分では言えないことを代弁してくれる番組。
ラジオが自分の思ったことやメッセージを伝えてくれる受け皿となっていると感じた。
- 「Brandnewday」石塚さんの語り口がリスナーとの距離感を絶妙にしている心地良い。
- ラジオは親近感が魅力。11/7の「独占！ごきげんアワー」で2週間ぶりに復帰した
近藤アナへの行員アナの温かい対応が印象に残った。また、感染防止の必要性をしっかりと
語っていた。
- 目に見えない分、紹介された商品のイメージが膨らむ。せんべいの紹介を聞いたが、
細かく表現され、思わずスーパーで探した。
- 「落語」などの耳でイメージできるコンテンツが増えると嬉しい。
- radikoだと2分遅れくらいで聞こえるが、理由があるのか。
また、新潟にいなくても出張先で聞けるのはとても新鮮。
- BSNラジオの編成（平日）は午前中が守備的、午後帯が攻撃的で緩急がある。
- FMは音楽と一人喋り、AMは複数でのトークというイメージだが、このような
番組作りを維持している理由はあるのか。
- ラジオとBSNアプリの連携がスムーズ。アプリの番組表からradikoに誘導されるのは
便利だと思う。

～新潟放送 情報センター ラジオ放送部長 吉井秀之より～

対象のベルト生番組以外もお聴きくださりありがとうございました。自主制作率約40%、
毎週70時間以上の自主番組を放送している中、特定の番組でなく「ラジオ全般」という
テーマとなりましたが、多くのお褒めの言葉やご意見を頂戴しました。スタッフとも共有し、
今後の番組作りにかかしていきたいと思えます。

私たちが当たり前を感じていることも、委員から指摘されたように一般リスナーにとって
は疑問に思うこともあるのだと改めてわかりました。

コロナウィルス禍、ラジオに触れる方が増えているのが、データからだけではなく実感し
ます。昔ながらのリスナーを大切にしながら、若い層を取り込むべく挑戦も行っていきたく

と思います。

【文責・番組審議会事務局】